

3人きょうだい全員が選んだ理由があります

一家族が語る、本校の魅力ー（全文）

◆保護者

Q. お子様を本校に入学させようと思ったきっかけを教えてください。

A. 先輩の親御様、中学校の先生方から、文星の先生方の面倒見の良さ、学習環境の良さを耳にしました。学校見学で先生方のお話を聞き、子どもたちへの指導の熱意を子どもとともに感じました。

Q. 第一子に続き、3人のお子様すべてを本校に通わせていただいた理由は何でしょうか。

A. 長女が友人や先生方と勉強や部活に楽しく真剣に取り組んでいる様子を見て、次女、長男も自然と興味を持ち、高校生活のイメージを具体的に描けるようになったのだと思います。学校見学で感じた先生方の指導への熱意を入学後も感じることができ、次女、長男が文星受験を選択したときには素直に応援する気持ちがわきました。

Q. 実際に通わせてみて感じた本校の良さはどのような点ですか。

A. 1学年時の英語の朝ゼミによる基礎学力の早期習得、3年間の平日21時までと土曜日、夏冬休校中の学校開放により、いつでも先生に相談できる充実した学習環境が整っていました。1学年から3学年まで、学校生活を中心に日々計画的に学習を積み重ねることにより必要な学力を自然と身につけることができたと感じました。

また、勉強だけでなく、部活や同好会での、友人や先生方、支援いただいた方々との交流により、これからの人生の糧となる経験を得ることができたと感じています。

Q. 学習面において「安心できた」と感じたエピソードがあれば教えてください。

A. 3年間の平日21時までと土曜日、夏冬休校中の学校開放により、放課後や休日でも学校に行けば、高い志を持つ友達が自習室にいて切磋琢磨できる、豊富な指導のご経験を持つシニアの先生方にすぐに相談できるという環境があり、3年間継続して勉強することができました。

Q. 先生方の指導やサポートについて印象に残っていることを教えてください。

A. 成績が伸び悩むことがあれば個別の対策問題を作成いただきました。進路選択に悩むことがあれば高い目標に導き、それを実現するための個別指導を先生方が連携して考えてくださいました。英検受験時には面接の練習を実施いただき、大学二次試験対策では過去問の添削を何度も実施いただきました。東京の専門書店に赴き必要な資料を選定いただいたこともあるとお聞きし感謝しています。

Q. お子様の成長を実感した瞬間について教えてください。

A. 帰宅後、休日でも規則的に自ら学習に取り組む学習の習慣が身に付きました。大学進学後も、高校で身につけた学習習慣と基礎学力をもとに、知識を積み重ね応用し、意欲的に勉学に取り組む様子を感じています。

Q. 進路指導について、保護者としてどのように感じましたか。

A. 先生方が連携し、学校内外のデータを活用して、進路希望を聞き出し、提案をいただきました。高い目標に導き、目標を実現するためにその時々の学習レベルに合わせて必要な指導をいただいたことで、着実に学力を高め目標に向かって進めたと感じています。

Q. 複数のお子様を通わせた中で、「この学校でよかった」と感じた決め手は何ですか。

A. 充実した学習環境はもちろんですが、一番は先生方の熱意です。三人の子どもそれぞれに学校見学で感じた熱意を3年間変わらず注ぎ、それぞれに合った学習方法を提案し導いてくださいました。少人数制により先生方が一人一人に寄り添っていただくことで、子どもたちも安心して学校生活、学習に取り組むことができたと思います。

子どもたちは卒業後も先生方と交流させていただき、大学生活での様子を報告するとともにアドバイスもいただいています。

最後に、これから受験を考えている保護者の方へメッセージをお願いします。

親世代の印象はスポーツに力を入れる男子校のイメージですが、英進科は一言でいうと勉強部です。勉強部というと固い印象に聞こえますが、野球が好きな子どもが甲子園を目指し夜遅くまで進んで素振りをするように、サッカーが好きな子どもが全国大会出場を目標に休日でもリフティングの回数を重ねるように、勉強したい子どもたちが好きな時に勉強ができ、勉強が好きな仲間たちと助け合い、その時々レベルに合わせて先生方がコーチ陣となって指導していただける、ワンチームの中に身を置くことができます。大学に行っても社会に出てからも、知識を身に着けたい、知識を活かして社会の役に立ちたいという子どもにとっては、基礎となる学力と、勉強の習慣を身につけるための充実した環境だと思います。ぜひ学校見学に足を運び先生方の熱意を感じたうえで、多くの学校と比較し、お子様と話し合いお子様にあった進路、学習環境を選択していただきたいと思います。

感謝の言葉（ありがたいことにY様より下記お言葉をいただきました。紹介させていただきます。）

三人の子どもたちへのご指導たいへんありがとうございました。先生方に校訓の三敬精神、モットーのライオン主義のもと、社会人につながる人間力をご指導、育成いただいたことで、それぞれに希望する進路に進むことができ、三人とも充実した教育環境のもと勉学と、大学生活を楽しんでいる様子です。

アンケートでも述べた通り、公立、私立、高専などいくつかの学校見学をした中で、先生方の熱意を最も感じたのが貴校でした。県内トップクラスの生徒が集まる公立の進学校も見学しましたが、貴校では生徒一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばそうとする先生方の熱意が特に印象に残っています。当時は現在ほど難関大学合格実績が広く知られていたわけではありませんでした。だからこそ進学実績だけでなく、生徒と真剣に向き合う先生方の姿勢に強く共感しました。子どもたちが貴校の受験を選択した際にも、その熱意を信頼していたため、安心して子どもたちの選択を尊重することができました。

少人数制で先生方が一人一人の生徒に向き合い、一人一人の個性に合わせた学習を指導いただいたことも子どもたちの力を伸ばすことにつながったと思いますし、その証拠に、それを感じている子どもたちが長期休み等に合わせて先生方を訪問し近況を報告する姿を見て、先生方との信頼関係の強さを改めて感じています。

子どもたち一人一人の個性に合わせた指導方法を考え、実践することは多くのご苦労があると存じます。朝早くから夜遅くまで、また、土曜日をご指導いただき体力面でもご苦労されると存じます。お体

を大切にこれからも多くの子どもたちにご指導いただけますよう、お願いいたします。ありがとうございました。

◆長男：Dさん（2026年北海道大学工学部合格 北海道大学総合教育学部1年）

Q. お姉さん2人が通っていた中で、本校を選んだ理由を教えてください。

A. 自分に甘いため勉強をしなければいけない学校を探していました。姉の姿を見て同じように文星の学校開放を利用すれば、自然と勉強習慣がつくだろうと考えました。公立高校は一学年数百人と人数が多く大勢に埋もれてしまいきちんとした指導が受けられるか心配でしたが、文星は少人数なことに加えて姉が通っていたこともあり先生方にも気をかけていただけるのではないかと考え文星を選びました。

Q. 入学前と入学後で印象は変わりましたか。

A. 入学前は勉強しかしていないという印象だったが、実際は学校行事など勉強以外のことにも全力で取り組んでいたことです。文星の生徒は真面目だという印象は変わりませんでしたが、勉強以外にも真面目さが表れていてオンとオフ(この場合はオンでしょうか)がきちんとできている学校だと思います。

Q. 学校生活で特に成長できたと感じる点は何ですか。

A. なかなか結果が出ないことに対してもやるべきことを続ける力がついたと思います。高校での勉強の第一のゴールは三年生の最後にある大学受験で、それまでは本当の意味での結果が出ません。結果が出ない中で何かを続けることは精神的にとっても大変で仲間がいたからこそ成長できた部分だと思います。

Q. 大学合格に向けて、どのような努力をしましたか。

A. 勉強をする習慣をつくることです。やる気が出ないときでもやることを決めておいて勉強のやる気を出すまでの準備運動を設定していました。また授業で扱う内容は毎回予習をして授業に置いていかれないようにしていました。高校からの勉強は予習が非常に大切だと思います。予習の有無で授業の理解度が大きく変わるので中学生のみなさんも高校に入学したら予習を頑張ってください。

Q. 先生方の指導で印象に残っていることを教えてください。

A. 自分が進みたい進路がわからないと担任の先生に相談したとき、色々な企業を紹介するテレビ番組を紹介していただいたことです。進路が見えていないことにコンプレックスを感じていたので、親身に相談に乗っていただけてとても嬉しかったです。

Q. 部活動や友人関係についても教えてください。

A. 部活動と言えるかはわかりませんが、一年生の時に野球部が甲子園に出場した際に有志の応援団としてランペットを演奏しました。その後も主に硬式野球部の試合の応援に参加させていただきました。

文星ではとても個性的な仲間に出会ったと思います。大学に入学して感じたことですが、文星での仲

間はかなり個性が強く優秀な人が集まっていました。みんな好きなことにまっすぐで興味深い話をしてくれたため、刺激的な毎日を送ることができました。大学に進学してからも、文星で出会った仲間の個性や魅力を改めて感じていますし、話すだけでも文星の生徒がとても優秀だったことをひしひしと感じます。この仲間たちに会えただけでも文星に入学して本当に良かったと思います。

Q. 受験期に大変だったことと、それをどう乗り越えたか教えてください。

A. 共通テスト後の受験校の決定です。それまで目標にしていた大学に合格できるか不安になり、目標を変更するか悩みました。先生方に受験校を変更しない方がいいと助言をいただき、受験校を決めました。仲間にも自分の気持ちを聞いてもらいました。お互いに頑張ってきたことを理解している仲間の存在が大きな支えになったと思います。

Q. 兄弟で同じ学校に通ったことで良かった点がありますか。

A. 負けず嫌いな性格なので姉2人と比較されても劣っていると思われまいように(文星の先生方はそんなこと思わないと思いますが)勉強を頑張りました。これがかなりのモチベーションになったと思います。

もう一つとても良かった点は、姉の授業を担当していた先生方から勉強のアドバイスをいただいたり、声をかけていただいたりしたことです。入学当初から先生方から声をかけていただき、緊張も和らぐ一方でいいプレッシャーにもなりました。

Q. 中学校3年生に向けて、高校を選ぶ際に考えてほしいこと、英進科が向いているなどと思う人、そして応援メッセージをお願いします。

A. 中学生には高校を選ぶときには自分が高校で何をしたいかを考えてほしいと思います。勉強をしたのか部活動を頑張りたいのか、それをどの程度頑張りたいのかなどを自分で決めておくことが大切です。それに合わせてそれぞれの高校の特色を調べたり、1日体験などで実際にその高校に通っている先輩にどんな生活を送っているかを聞いてみてください。英進科について言うと勉強を頑張りたい人、または勉強を頑張りたいけど1人では続けられなさそうな人におすすめです。特に今は勉強が苦手もしくは苦手だけど頑張りたい人です。文星は勉強ができるできないに関わらずやる気がある人が集まっています。クラスに数人は特定の分野に詳しい人がいます。そういった人についていくつもりで勉強して学習環境と先生方をうまく活用すれば実のある高校生活を送れるはずです。また文星は学校行事も全力で楽しめます。決して勉強だけの高校生活ではありません。文星に入れば全力で三年間を駆け抜けることができます。中途半端に終わって三年間何をしていたんだろうと思うことは決してないと思います。みなさん大変な時期だと思いますが、良い選択になるよう心から応援しています。

◆長女：Nさん（2021年北海道大学合格 北海道大学大学院工学院材料科学専攻修士2年）

Q. 本校に入学した理由を教えてください。

A. 少人数制のクラスが導入されており、生徒一人ひとりに対してより手厚くフォローしてもらえる点に強く惹かれたからです。大人数の環境よりも、先生との距離が近く、安心して学べる環境だと感じて入学を決めました。

Q. 学校生活で特に印象に残っていることは何ですか。

A. かけがえのない友人たちと過ごした時間です。3年間の学校生活を通して、楽しいことはもちろん、受験期などのつらい時期もすぐそばで一緒に乗り越えてきました。少人数制で深く関われたからこそ、卒業して5年以上が経過した今でも頻繁に集まり、近況報告をし合えるような仲間に出会えたことは、私にとって一番の大切な思い出です。

Q. 学力が伸びたと感じたきっかけや指導はありましたか。

A. 先生方にわからないことを質問できる環境が、自分にとても合っていました。疑問に思ったその時に質問し、丁寧に教えてもらったことが学力向上に直結したと感じています。また、高校時代に質問する力を養えたことで、大学進学後に難しい課題に直面した際も、物おじせず周囲に頼ったり、能動的に学びに行ったりする姿勢を身につけることができました。

Q. 大学合格につながったと感じる本校での学びは何ですか。

A. 1年生の早い段階から、予習と復習を習慣づける癖を徹底して身につけられたことです。日々の小さな積み重ねが確固たる基礎となり、受験期の本格的な勉強にもスムーズに移行でき、最終的な大学合格へとつながったと実感しています。

Q. 先生との関わりで印象に残っていることを教えてください。

A. どの先生方も常に自分のことを気かけ、いつも温かく応援してくださっていたことが強く印象に残っています。小さな変化にも気づいて声をかけ、背中を押し続けてくれる環境だったからこそ、安心して3年間の学校生活や受験勉強に打ち込むことができました。

Q. 勉強と学校生活の両立で工夫していたことはありますか。

A. 学校生活の中に自然と勉強すること組み込まれていたのも両立のための特別な工夫というよりも放課後自主学習の時間を最大限に活用していました。家よりも学校にいる方が集中できるタイプだったのでできるだけ学校にいるうちにその日の勉強を終わらせるように意識し、計画的に進めることを心がけていました。

Q. 受験期に支えになった本校のサポートは何ですか。

A. 先生方が親身になって相談に乗ってくださったことです。進路のことはもちろん、本当に些細な悩みでも耳を傾けてくれました。また、個別の過去問添削などもお願いすると快く引き受けてくださり、常に生徒第一で考えて寄り添ってくれている安心感がありました。

Q. 現在の大学院生活で、本校での経験が活きていると感じることはありますか。

A. 大学院での研究生生活は、自分でスケジュールを管理し、地道に実験を進める必要があります。日々わからないことの連続ですが、高校時代に培った「自学自習の習慣」や、疑問を自分で考える「主体的に進める力」が、まさに今の研究活動の基礎になっていると日々実感しています。

Q. これから高校受験を迎える中学生やその保護者へアドバイスをお願いします。

A. 私は学校でしっかり勉強して大学へ進学したかったため、文星を選んで正解だったと思っています。少人数制だからこそ先生方が生徒第一で寄り添いいつも温かく応援してくださいました。高校を卒業して5年以上が経ち、大学院で研究に励む今でもここで身につけた力や経験は私の大きな財産になっています。学校見学へ参加すれば文星の魅力をきっと実感していただけるはずです。皆さんが自分に合う学校に出会い納得のいく高校受験ができるよう、心から応援しています！

次女:Mさん(2022年東北大学合格 東北大学大学院生命科学研究科生体発生適応科学専攻修士1年)

Q. お姉さんが本校に通っていた中で、ご自身も入学しようと思った理由は何ですか。

A. 公立高校や他の私立高校と比べて少人数制のクラスであることから、より自分に合った指導を受けられるのではないかと考え、文星に入学することを決めました。姉からは毎日文星の話を聞いていたので何の不安もなく志望校を文星に絞っていた記憶があります。

Q. 第2子として見た本校の魅力はどのような点でしたか。

A. 姉からも聞いていて感じていたことではありますが、少人数制ということもあり、一人ひとりに寄り添った指導が受けられるところが文星の魅力だと思います。

Q. 自分に合っていると感じた授業や学習環境はありましたか。

A. 2年次の文理選択で私は理系生物を選択しました。生物選択者は(たしか)5人で、超少人数でした。超少人数の中、先生との対話型で進められた授業がとても印象的で、教科書に書いてあることをなぞるだけではない、知的好奇心がくすぐられるような、学ぶ楽しさを改めて実感した授業だったと覚えています。私が生物学って面白い！と感じるようになった一つのきっかけです。

夜9時までの学校開放や土曜日の学校開放をよく利用していました。私はオンオフの切り替えがあまり得意ではなかったのが、学校で勉強して家では休むというように無意識的に切り替えができる学習環境が非常に合っていたと思います。

Q. 大学合格に向けて、特に役立った指導は何ですか。

A. 受験前は日曜日や祝日も学校開放して下さり、分からないことがあればいつでも先生に聞けるようなサポート体制がとてもありがたかったです。

Q. 苦手科目の克服について、どのようなサポートを受けましたか。

A. 私は数学の成績に非常に波があるタイプだったと記憶しています。当時担当して下さっていた数学の先生は様々な大学の過去問を分野ごとにまとめた冊子を貸して下さったり、担当ではなかった先生も質問しに行くと丁寧に説明して下さったりと科全体で手厚くサポートしていただいたことを覚えています。

Q. 学校の雰囲気について感じたことを教えてください。

A. 先生と生徒の距離が近く、わからないことがあれば気軽に質問に行けたり、何気ないことでも相談することができたりするような温かい雰囲気でした。

Q. 受験期のモチベーション維持の方法を教えてください。

A. 同じような目標を持った友人がいて、お互いに切磋琢磨し合えたことがモチベーションを保つ大きなカギとなっていました。英進科では「受験は団体戦」という言葉がよく使われますが、まさにその言葉の通り、自分一人では頑張りが続けることは難しかったと思います。

私は甘いものが好きなので、休憩時間にお菓子を食べることでリフレッシュしていました！

Q. 「この学校だから頑張れた」と思う点は何ですか。

A. 私は夜9時までの学校開放をほとんど毎日利用していました。学校でしっかり勉強して、家ではしっかり休むことで、やるときはやる、休むときは休むとスイッチを切り替えられたことが3年間頑張れた理由の一つだと思います。

Q. 志望校を悩んでいる中学生にメッセージをお願いします。

A. 英進科は少人数制ということもあり、一人ひとりに寄り添った指導が受けられることが魅力です。私が第一志望の大学に合格できたのも、先生方の温かく手厚いサポートがあったからだと思います。一度きりの高校生活を前に、志望校選択で迷われている方はぜひ、学校見学に足を運んでみてください！先生や先輩の話を聞き、実際に校舎を見ることで、きっと文星の魅力を感じられるはずです。皆さんの第一歩を心から応援しています！